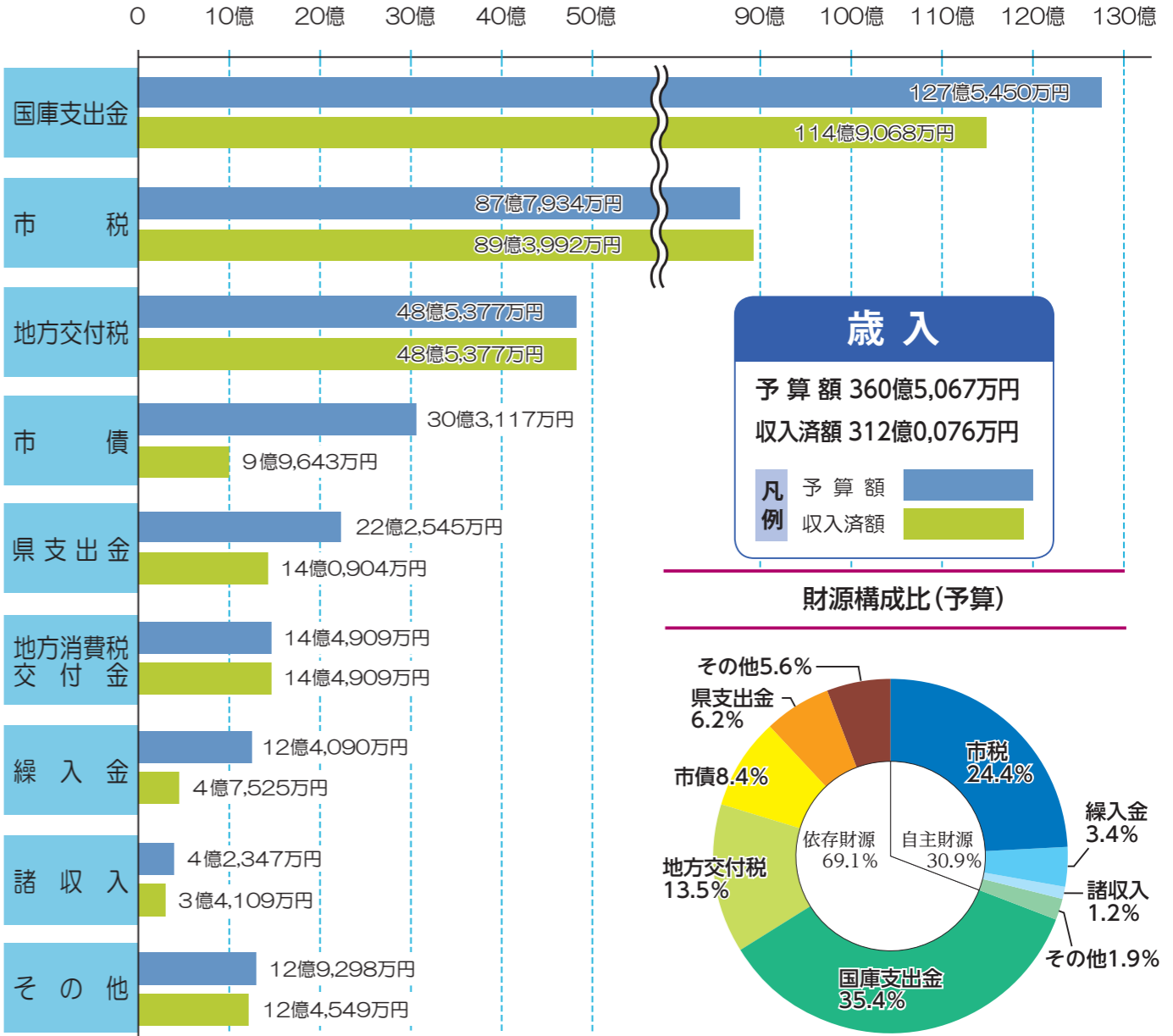
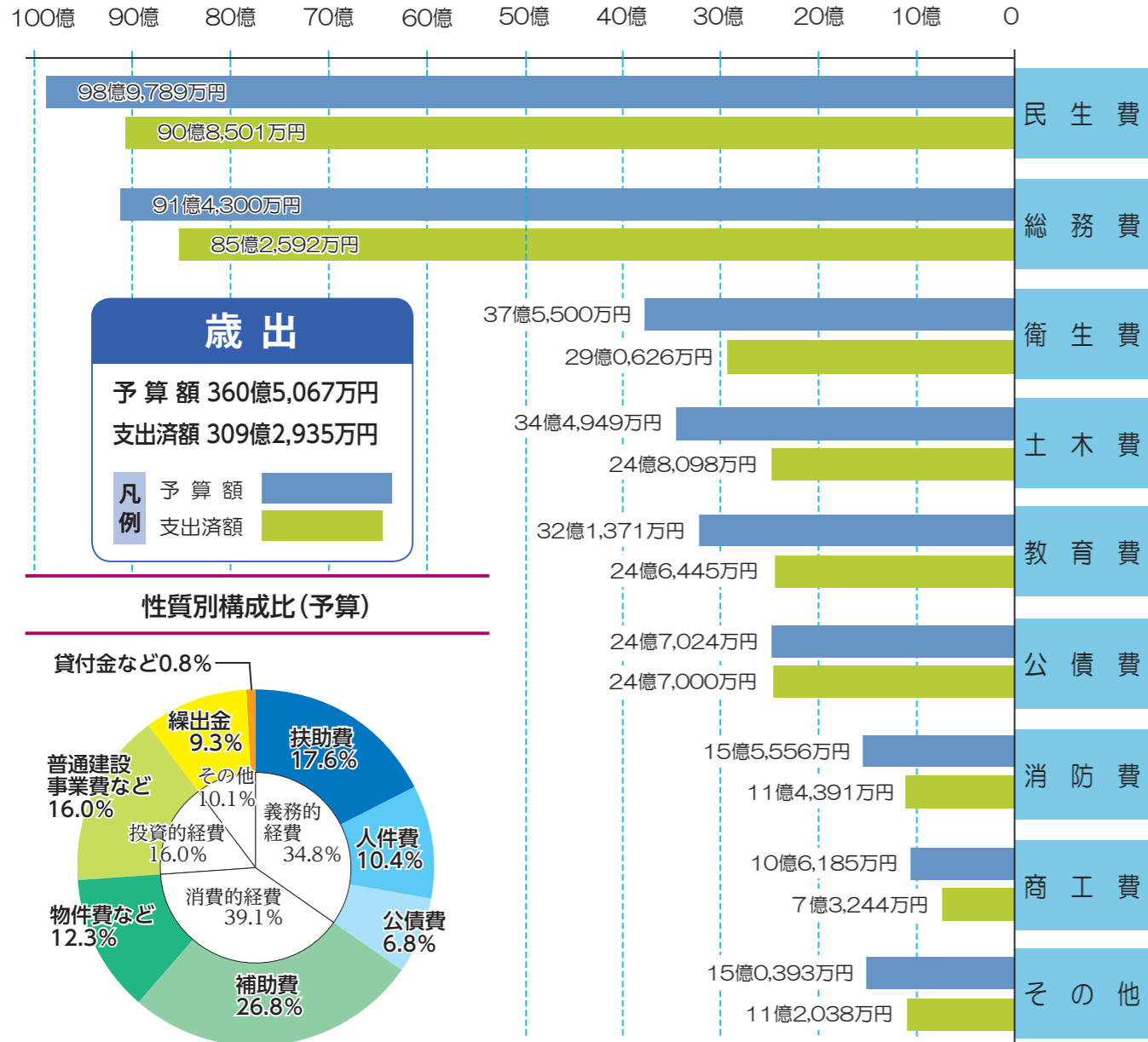


# 市の財政状況を

# お知らせします

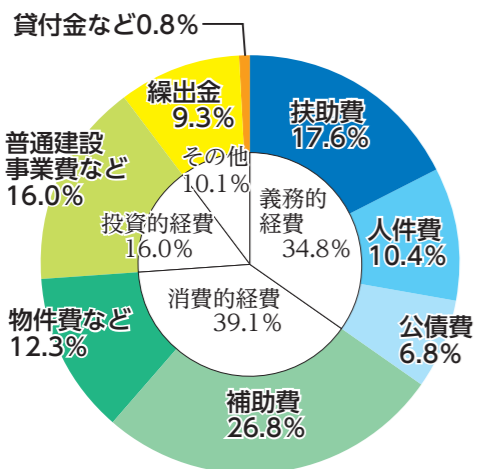
令和3年3月31日現在



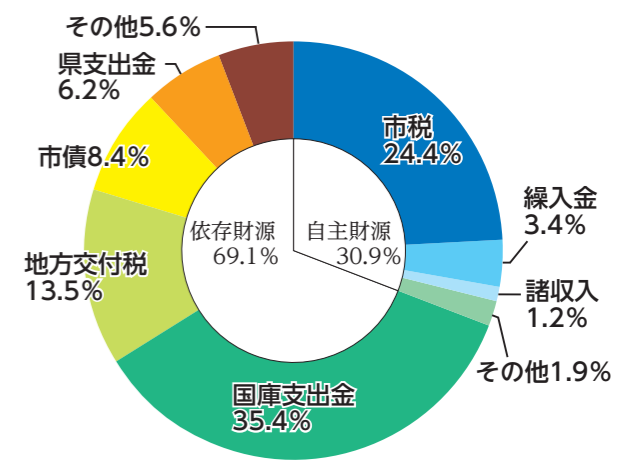
**歳出**  
 予算額 360億5,067万円  
 支出済額 309億2,935万円

**歳入**  
 予算額 360億5,067万円  
 収入済額 312億0,076万円

性質別構成比(予算)



財源構成比(予算)



市が持っている財産

土地(山林を除く)	256万4,440.23㎡	山林	376万3,434.00㎡	基金(現金)	73億5,151万円
建物	23万0,192.17㎡	出資金	20億5,974万円	基金(土地)	1万3,780.16㎡

市が抱えている負債

負債の現在高 452億7,241万円		市民一人当たり 70万6,168円			
一般会計	199億4,178万円	特定地域生活排水処理事業	5,481万円	下水道事業	52億0,741万円
介護老人保健施設	1億4,660万円	水道事業	49億5,518万円	国民健康保険鬼石病院事業	4億1,894万円
				一部事務組合(市負担分)	145億4,769万円

**一般会計の状況**

令和2年度一般会計の予算は、当初265億9000万円でしたが、その後、緊急で重要な事業を実施するための補正を行いました。繰越明許費を含めた最終予算額は、360億5067万円です。

主な事業では、地域コミュニティ活性化補助事業、公民館大規模改修事業、おたふくかぜワクチン接種事業、避難施設再生可能エネルギー設備等導入事業など住環境と都市機能の整備、藤岡インターチェンジ西産業団地整備事業など高速交通・拠点性を活かした産業基盤整備、住宅用再生可能エネルギー設備等設置費補助事業など豊かな自然資源を生かした田園都市の形成などを実施しました。

また、新型コロナウイルス対策として、全市民を対象に一律10万円を給付する特別定額給付金事業や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、現在および将来の感染リスクへの対策や経済の回復と市民生活・家計への支援に関する事業を実施しました。

執行状況は、令和3年3月31日現在で、収入済率86・5%、支出済率85・8%です。

※繰越明許費：予算成立後、突発的事故の発生などの理由で年度内に支出の終わらない見込みがある経費を、議会の議決を得て翌年度に繰り越して使用することができる予算

問い合わせ 財政課(☎2821)